

2021年8月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年1月5日

上場会社名 株式会社AFC-HDアムスライフサイエンス
 コード番号 2927 URL <https://www.ams-life.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 浅山雄彦
 問合せ先責任者 (役職名) 社長室長 (氏名) 南方茂穂

TEL 054-281-5238

四半期報告書提出予定日 2021年1月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年8月期第1四半期の連結業績(2020年9月1日～2020年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年8月期第1四半期	4,637	20.3	558	113.6	557	114.2	375	132.6
2020年8月期第1四半期	3,853	9.6	261	21.0	260	26.4	161	28.9

(注) 包括利益 2021年8月期第1四半期 375百万円 (100.9%) 2020年8月期第1四半期 187百万円 (19.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年8月期第1四半期	26.91	
2020年8月期第1四半期	11.48	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年8月期第1四半期	19,393	10,546	54.4
2020年8月期	18,548	10,463	56.4

(参考) 自己資本 2021年8月期第1四半期 10,546百万円 2020年8月期 10,463百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年8月期		10.00		10.00	20.00
2021年8月期					
2021年8月期(予想)		10.00		10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年8月期の連結業績予想(2020年9月1日～2021年8月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,000	1.4	570	0.8	570	0.4	370	4.9	26.71
通期	16,000	1.1	1,100	0.6	1,100	0.0	720	6.4	51.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年8月期1Q	14,144,720 株	2020年8月期	14,144,720 株
期末自己株式数	2021年8月期1Q	295,012 株	2020年8月期	81,012 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年8月期1Q	13,953,224 株	2020年8月期1Q	14,063,751 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信の添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループが属する健康食品市場は、コロナ禍において消費者の健康志向、特に免疫に関する関心が高まっており、総務省の家計調査報告によると2人以上世帯の健康保持用摂取品の支出が前年同月を上回る結果が続くなど、消費者は健康食品の支出を増やしている状況にあります。

このような状況の下当社グループでは、美容商材が伸長した海外部門を筆頭に、通信販売部門・OEM部門・卸販売部門・医薬品事業の売上高が前年同期を上回る結果となり、連結全体の売上高は4,637百万円（前年同期比120.3%）となりました。損益面につきましては、各部門の増収効果に加え、2007年に買収した子会社の本草製薬が黒字転換したこと、さらに、自社製品の販売が伸長したことにより粗利益率が上昇し、売上総利益が前年同期比124.3%となったことで、当第1四半期の営業利益は558百万円（前年同期比213.6%）、経常利益は557百万円（前年同期比214.2%）となりました。経常利益の増益効果により、親会社株主に帰属する四半期純利益は375百万円（前年同期比232.6%）となり、売上高及び各利益とも、第1四半期の過去最高を大幅に更新する結果となりました。2020年12月も、引き続き、好調を維持しております。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(ヘルスケア事業)

・OEM部門

当社グループの基幹事業である当部門は、コロナ禍において消費者の健康意識の高まりと巣ごもり需要増が相まって、青汁やビタミンなどの定番商材の受注が増加いたしました。さらに、免疫賦活商材であるプロポリスや乳酸菌なども合わせて伸長いたしました。その結果、当部門の売上高は前年同期を上回りました。

機能性表示食品については、前期に続き、届出支援を含む製品開発、提案を強化しております。

・海外部門

アジア地域を主な取引先とする当部門は、東南アジアの既存顧客において美容商材が伸長いたしました。また、新規の大口顧客開拓にも注力し、香港、台湾などにおいて新たな取引を開始いたしました。その結果、当部門の売上高は前年同期比239.3%となりました。

・通信販売部門

定番人気製品『薬用アミノ酸シャンプー爽快柑』を商材としたテレビや新聞、ウェブ広告を展開し、同製品の受注が大幅に増加いたしました。また、新規顧客へのフォローを強化し、リピート率の向上に注力したほか、新製品やリニューアル製品の開発を積極的に行いました。その結果、巣ごもり消費による受注増も加わり、当部門の売上高は前年同期比120.0%となりました。

・卸販売部門

機能性表示食品の開発に努め、内臓脂肪を減らす機能がある『プロシアニジン』を上市いたしました。前期に続き、主力製品『食べるコラーゲン』が好調に推移したことに加え、乳酸菌や酵母、ダイエット商材が伸長したことにより、当部門の売上高は前年同期比116.3%となりました。

・店舗販売部門

百貨店専売自社製品であるRICHシリーズの販売強化により、利益率が向上いたしました。さらに、昨年11月に機能性表示食品『RICH 酵素処理ヘスペリジン』および『RICH GABA』を新発売いたしました。人気製品『ラ・ヴィ・プラセンタ』は、一昨年にパッケージなどの仕様変更を行い、製品名を『PLACENTAサプリメント』にチェンジし、『PLACENTA原液』とともに販売促進を進めたことにより、同製品の売上が前年同期比115%と好調な売れ行きとなりました。

以上の結果、ヘルスケア事業の業績は、売上高4,261百万円（前年同期比121.1%）、営業利益664百万円（前年同期比171.2%）（全社費用調整前）となりました。

（医薬品事業）

医薬品市場は、大別して医師の処方箋に基づき病院・診療所、調剤薬局で購入する医療用医薬品市場と、医師の処方箋が要らず、ドラッグストアで購入する一般用医薬品市場に分けられます。

医療用医薬品につきましては、重点販売製品として位置付けている自社製造、医療用ジェネリック医薬品『ピムロ顆粒』（下剤）、生活習慣改善薬のジェネリック医薬品『タダラフィル錠』『フィナステリド錠』『シルデナフィル錠』が順調に売上を伸ばし、利益においても黒字転換いたしました。

以上の結果、医薬品事業の業績は、売上高が375百万円（前年同期比112.9%）、営業利益21百万円（前年同期は7百万円の営業損失）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（流動資産）

当第1四半期連結会計期間末における流動資産合計は、前連結会計年度末に比べ902百万円増加し、10,911百万円となりました。この増加要因は主として、受取手形及び売掛金が119百万円減少した反面、現金及び預金が770百万円、原材料及び貯蔵品が144百万円増加したことによるものであります。

（固定資産）

当第1四半期連結会計期間末における固定資産合計は、前連結会計年度末に比べ57百万円減少し、8,482百万円となりました。この減少要因は主として、投資その他の資産のその他が59百万円減少したことによるものであります。

（流動負債）

当第1四半期連結会計期間末における流動負債合計は、前連結会計年度末に比べ783百万円増加し、6,988百万円となりました。この増加要因は主として、支払手形及び買掛金が439百万円増加したことに加え、前受金等の増加により流動負債のその他が314百万円増加したことによるものであります。

（固定負債）

当第1四半期連結会計期間末における固定負債合計は、前連結会計年度末に比べ21百万円減少し、1,859百万円となりました。この減少要因は主として、返済により長期借入金が25百万円減少したことによるものであります。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ82百万円増加し、10,546百万円となりました。この増加要因は、純資産の部の控除科目である自己株式が152百万円増加した反面、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上より、利益剰余金が234百万円増加したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、当社グループの業績に与える影響につきまして合理的な数値で示すことが困難であることから2020年10月9日の「2020年8月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。新型コロナウイルス感染症の影響額を把握し、その数値を示すことが可能となった時点で速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,725,642	5,496,503
受取手形及び売掛金	2,190,325	2,070,616
商品及び製品	1,043,265	1,086,020
仕掛品	938,108	981,086
原材料及び貯蔵品	1,013,745	1,158,503
その他	160,728	180,843
貸倒引当金	△62,627	△62,218
流動資産合計	10,009,188	10,911,354
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,715,340	2,713,036
土地	3,895,432	3,895,067
その他(純額)	1,048,426	1,068,108
有形固定資産合計	7,659,199	7,676,212
無形固定資産		
その他	162,778	148,173
無形固定資産合計	162,778	148,173
投資その他の資産		
その他	730,837	671,266
貸倒引当金	△13,115	△13,115
投資その他の資産合計	717,721	658,150
固定資産合計	8,539,699	8,482,537
資産合計	18,548,888	19,393,891
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,009,287	2,448,295
短期借入金	2,866,009	2,866,009
未払法人税等	196,273	195,579
賞与引当金	170,100	198,005
ポイント引当金	23,743	27,227
その他	938,927	1,253,188
流動負債合計	6,204,340	6,988,304
固定負債		
長期借入金	1,082,326	1,056,457
役員退職慰労引当金	195,858	199,036
退職給付に係る負債	439,568	447,771
負ののれん	563	422
その他	162,322	155,456
固定負債合計	1,880,638	1,859,144
負債合計	8,084,978	8,847,448

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,131,839	2,131,839
資本剰余金	2,195,880	2,195,880
利益剰余金	6,238,981	6,473,836
自己株式	△59,314	△212,110
株主資本合計	10,507,387	10,589,446
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△59,684	△61,249
為替換算調整勘定	△2,023	666
退職給付に係る調整累計額	18,229	17,580
その他の包括利益累計額合計	△43,477	△43,003
純資産合計	10,463,909	10,546,443
負債純資産合計	18,548,888	19,393,891

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年9月1日 至2019年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年9月1日 至2020年11月30日)
売上高	3,853,156	4,637,135
売上原価	2,696,309	3,199,104
売上総利益	1,156,847	1,438,031
販売費及び一般管理費	895,324	879,431
営業利益	261,523	558,599
営業外収益		
受取利息	807	235
受取配当金	1,315	1,581
投資有価証券売却益	269	3,824
受取賃貸料	5,464	4,567
負ののれん償却額	140	140
その他	3,415	2,290
営業外収益合計	11,411	12,639
営業外費用		
支払利息	8,508	7,659
投資有価証券売却損	472	3
その他	3,544	5,659
営業外費用合計	12,525	13,322
経常利益	260,409	557,916
特別利益		
固定資産売却益	175	—
特別利益合計	175	—
特別損失		
固定資産除却損	5,235	90
投資有価証券評価損	—	14,345
減損損失	—	365
特別損失合計	5,235	14,800
税金等調整前四半期純利益	255,349	543,115
法人税、住民税及び事業税	97,444	174,918
法人税等調整額	△3,499	△7,294
法人税等合計	93,944	167,623
四半期純利益	161,404	375,491
親会社株主に帰属する四半期純利益	161,404	375,491

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2019年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2020年11月30日)
四半期純利益	161,404	375,491
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	24,232	△1,565
為替換算調整勘定	1,544	2,689
退職給付に係る調整額	—	△649
その他の包括利益合計	25,776	474
四半期包括利益	187,181	375,966
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	187,181	375,966
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年9月1日 至 2019年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	ヘルスケア事業	医薬品事業	
売上高			
外部顧客への売上高	3,520,687	332,469	3,853,156
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	3,520,687	332,469	3,853,156
セグメント利益又は損失(△)	388,110	△7,829	380,281

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	380,281
全社費用(注)	△118,757
四半期連結損益計算書の営業利益	261,523

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年9月1日 至 2020年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	ヘルスケア事業	医薬品事業	
売上高			
外部顧客への売上高	4,261,937	375,198	4,637,135
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	4,261,937	375,198	4,637,135
セグメント利益	664,436	21,512	685,948

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	685,948
全社費用(注)	△127,348
四半期連結損益計算書の営業利益	558,599

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。